

全組合員が船橋へ

四月二日県議選告示三小される

統一地方選挙の県議選の告示が三日に行なわれた。県内においても動労千葉の推薦候補六名が立候補し、十日間の選挙期間を闘いぬく。また、中江選挙戦も終盤に入り、ますます熱気が高まり、再選へ向けての気運が高まりつつあるが、まだ予断を許さない状況だ。中曾根打倒へ動労千葉推薦候補の全員当選をかつとろう。一切は全組合員の総決起にかかっている。全力で船橋へ。

売上税で「がまん」を

押しつける中曾根

今回の県議選でも、中曾根の進める軍拡のための売上税問題をめぐり、激しい選挙戦が展開されることは明らかだ。当の中曾根は、岩手における参院補欠選挙での「大敗」や、三月二十九日に当票された墨田区長選でも自民党推薦候補が落選など、大きなショックをうけグラグラになっている。

四月二日、群馬での後援会で中曾根は、売上税について「やり方のまずいところは直すべきだ。『いやだけどがまんしよう』というところまでもつていきたい」（四月三日朝日）と、売上税修正をほめかすまでに追い込まれ、ますます危機感をつのらせている。しかし、「八つ裂きになっても国家のために……」（同）と国民の怒りを無視し、「国家」を前面に押し出し、軍拡のためのみ売上税を強行しようとしている。

動労千葉推薦候補の

全員当選を

このように危機を深めさせる中曾根が「三〇九議席」にものをいわせて暴力的に出てくる以上、われわれもこれに対する闘いとして県議選推薦候補の全員当選と、続く船橋市議選の勝利を全力を上げてかちとらなければならない。

一日夕方、津田沼駅で行なわれた「売上税反対！ 市政報告会」では、組合員、家族会、市民の会総勢五十名でピラマキを行ない、船橋市民に「売上税は戦争へ



津田沼駅頭で市民に訴える中江市議
左は船橋選挙区で闘う松本県議（4月1日）

の道だ。中曾根たおせ」と訴え、大きな声援がわきあがった。状況は、われわれに有利な方向に動いている。「中江勝利が一切のカギ」なのだ。

その「カギ」を握るものこそ全組合員の総決起にあるのだ。

全組合員が船橋に結集しよう。

動労千葉推薦の県議会議員候補者は次の通り。全員当選をかちとろう。

- | | |
|--------|----------|
| 市川 福平 | (千葉市選挙区) |
| 松本 正二 | (船橋市選挙区) |
| 黒野 波三 | (佐倉市選挙区) |
| 高橋 正八郎 | (印旛郡選挙区) |
| 小岩井 清 | (市川市選挙区) |
| 北角 虎男 | (流山市選挙区) |